

明日を担う音楽家たち

新進芸術家海外研修制度の成果

一夜限りの
4つの協奏曲！



本田ひまわり
オルガン
~~~~~  
ボッシ  
オルガン協奏曲  
イ短調 Op.100

©Daria Vinogradova



原田莉奈  
ピアノ  
~~~~~  
モーツァルト
ピアノ協奏曲第23番
イ長調 K.488



青島周平
ピアノ
~~~~~  
プロコフィエフ  
ピアノ協奏曲第3番  
ハ長調 Op.26



山根風仁  
チェロ  
~~~~~  
シューマン
チェロ協奏曲
イ短調 Op.129

©John Cooper



高関 健
指揮
©K.Miura

東京シティ・
フィルハーモニック
管弦楽団
©K.Miura



2025.2.27(木) 19:00開演
(18:15開場)
東京オペラシティコンサートホール

チケット料金
(税込)

S席:3,500円 S席ペア券:6,000円
S席ジュニア券(小学生から高校生):1,000円
A席:2,500円 B席:1,000円

主催:公益社団法人日本オーケストラ連盟
助成:文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(芸術家等人材育成))
独立行政法人日本芸術文化振興会



<https://www.orchestra.or.jp/tomorrow2025/>

明日を担う音楽家たち

新進芸術家
海外研修制度の成果



Honda Himawari
本田 ひまわり

オルガン Organ

〔令和4年度／フランス・ストラスブール〕

恩師 Benjamin-Joseph Steens 氏と

フランス国内でもトップのオルガン数を誇るアルザス地方で、18～19世紀に建造された楽器に数多く触れることができ、各様式への理解が深まりました。この協奏曲では、オルガンらしい重厚な音、朗々とした歌、レジストレーションが生み出す多彩な音色をお楽しみいただければと思います。

▶ Profile

東京藝術大学オルガン専攻卒業後、同大学大学院修士課程を修了。学部卒業時に同声会賞を受賞。2019年に渡仏し、ストラスブール地方音楽院で研鑽を積む。2022年にオルガン専攻、2024年に古楽鍵盤専攻を、それぞれ満場一致の最高点で卒業。令和4年度文化庁新進芸術家海外研修員。これまでにオルガンを武田ゆり、徳岡めぐみ、Johann Vexo、Martin Gester、Benjamin-Joseph Steens、Francis Jacobに、クラヴィコードを Benjamin-Joseph Steens、チェンバロを Aline Zylberajch の各氏に師事。



Aoshima Shuhei
青島 周平

ピアノ Piano

〔令和4年度／フランス・パリ〕

研修先のパリにて

パリでの授業ではとくに、楽譜からどのように音楽を読み取るかについて多くの発見がありました。今回演奏する曲目は、独特なリズムや突然の転調などプロコフィエフらしいユーモアにあふれた作品で、ピアノとオーケストラそれぞれの音色と、双方が合わり爆発するエネルギーを体感していただきたいです。

▶ Profile

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大学卒業。現在パリ国立高等音楽院ピアノ科、伴奏科、エクリチュール科に在学中。これまでに中村信子、後藤康孝、北島公彦、横山幸雄、青柳晋、伴奏をジャン＝マリコテ、和声をイヴ・アンの各氏に、現在ピアノをフランク・ブラレイ、上田晴子の各氏に師事。令和4年度文化庁新進芸術家海外研修員。第5回高松国際ピアノコンクール第2位・委嘱作品演奏者賞及び特別賞、第2回 Shigeru Kawai 国際ピアノコンクール6位・全音賞などを受賞。



Harada Rina
原田 莉奈

ピアノ Piano

〔令和5年度／ドイツ・ベルリン〕

ベルリンで開催されたシュナーベルコンクールにて

ベルリンでの経験を通じて、感情やイメージの表現の可能性が無限であり、限りなく自由であることを強く感じました。今回演奏する作品は、モーツァルトらしい流麗な華やかさと繊細な美しさが見事に調和した傑作で、特に第2楽章の内的でメランコリックな雰囲気には心惹かれます。色彩豊かなモーツァルトの世界をぜひお楽しみください。

▶ Profile

京都市立京都堀川音楽高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。同大学大学院修士課程に進学。令和5年度文化庁新進芸術家海外研修員。現在、ベルリン芸術大学マスターピアノソリスト科にて研鑽を積む。これまでに辰巳千里、土居知子、福井尚子の各氏に、現在、坂井千春、Gottlieb Wallisch の各氏に師事。第15回東京音楽コンクールピアノ部門第2位。第26回アルトゥール・シュナーベルコンクール第2位（1位無し）。第19回シューマン国際コンクールピアノ部門セミファイナル出場。



Yamane Futo
山根 風仁

チェロ Cello

〔令和4年度／ベルギー・ブリュッセル〕

恩師 Alain Gervreau 氏と

ベルギーではロマン派～近代の歴史的演奏解釈を研究し、普段はバリオード楽器を用いたプロジェクトに関わることが多いです。ロマン派のチェロのためのレパートリーを代表するこの協奏曲を通して、音楽の新たな側面を探索する、そんな「19世紀の古楽」の世界と一緒に驚き楽しんでいただけたら嬉しいです。

▶ Profile

美学的側面から作曲当時の演奏習慣を研究し、実際の演奏へと取り入れるヒストリカル・チェロ奏者。東京藝術大学を安宅賞、アカンサス音楽賞を得て卒業。英国王立スコットランド音楽院修士課程HIPP（歴史的演奏研究）科を修了後、令和4年度文化庁新進芸術家海外研修制度によりブリュッセル王立音楽院ポストグラデュエート課程を修了。これまでに、チェロを上塚幸代、上塚憲一、河野文昭、鈴木秀美、David Watkin、Alain Gervreau の各氏に師事。指揮法を René Gulikers 氏に学ぶ。第32回青山音楽賞「新人賞」を受賞。

指揮：高関 健

Takaseki Ken

国内主要オーケストラで重職を歴任し、現在東京シティ・フィル常任指揮者、仙台フィル常任指揮者、富士山静岡交響楽団首席指揮者。サンクトペテルブルグ・フィル定期演奏会など海外への客演も多く、世界的ソリストや作曲家、特にマルタ・アルゲリッチからは3回の共演を通じて絶大な信頼を得る、緻密なスコア分析からスケールの大きな音楽を作り出す名匠。新国立劇場での團伊玖磨「夕鶴」、ストラヴィンスキー「夜鳴きうぐいす」、チャイコフスキー「イオランタ」、2019年にはワラジオストクとサンクトペテルブルグでも「夕鶴」を指揮するなど、オペラでも高評価を得る。第50回サントリー音楽賞受賞。

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

Tokyo City Philharmonic Orchestra

1975年設立。現在、常任指揮者に高関健、首席客演指揮者に藤岡幸夫を擁し、定期演奏会のほかオペラ、バレエ、テレビ出演などその活動は多岐にわたる。1994年から東京都江東区と芸術提携を結び、地域に根ざした音楽文化の振興を目的に幅広い活動を行っている。2021年5月には桂冠名誉指揮者飯守泰次郎の傘寿記念として「ニーベルングの指環」ハイライト特別演奏会（演奏会形式）を開催し、2022年8月に第30回三菱UFJ信託音楽賞を受賞。これからの活躍が最も期待されているオーケストラである。

2025.2.27 木 19:00開演
(18:15開場)
東京オペラシティコンサートホール

チケット料金
(税込)

S席:3,500円 S席ペア券:6,000円
S席ジュニア券(小学生から高校生):1,000円
A席:2,500円 B席:1,000円

- ヴォートル・チケットセンター 03-5355-1280
- チケットぴあ(Pコード:283-771) <https://t.pia.jp>
- イープラス e+ <https://eplus.jp>
- ローソンチケット(Lコード:31549) <http://l-tike.com>
- 東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999

※小学生からご入場いただけます。※やむを得ない事情により、曲目・出演者等が変更になる場合がございます。

プログラム

ボッシ:オルガン協奏曲 イ短調 Op.100
【オルガン:本田ひまわり】

モーツァルト:ピアノ協奏曲第23番 イ長調 K.488
【ピアノ:原田 莉奈】

プロコフィエフ:ピアノ協奏曲第3番 ハ長調 Op.26
【ピアノ:青島 周平】

シューマン:チェロ協奏曲 イ短調 Op.129
【チェロ:山根 風仁】

主催:公益社団法人日本オーケストラ連盟
助成:文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(芸術家等人材育成))
独立行政法人日本芸術文化振興会